

石狩支部 支部長 佐藤 則仁

1 支部活動の状況

令和5年度北海道公立学校事務職員協会石狩支部総会は、令和5年7月5日から10日まで審議期間を設けて、書面審議で実施しました。令和4年度事業報告、決算報告及び監査報告、令和5年度事業計画及び予算、役員改選を審議し、可決されたことを受け、支部活動をスタートさせました。

(1) 令和5年度総務会計部事業計画

各部との連絡調整を密にし、事業の円滑な運営遂行に努め事務を処理する。

ア. 役員間の連携

費用対効果を考慮し、メール等の活用による協議を行うとともに、必要に応じ役員会を開催する。

イ. 会計予算の適正かつ効率的な執行

(2) 令和5年度調査研究部事業計画

ア. 活動方針及び調査研究部の体制

・活動方針

3年以上の長期間に及んだ新型コロナウイルス感染予防対策の影響により、ブロック単位による活動は全く実施することができなかった。また、集合型の研究部会は毎年2回程度開催出来ているが、支部研究協議会はここ4年間実施出来なかったことにより、会員間の連携も弱まってきているように感じられる。

そのため、複数年かけて、徐々に活動を活発化させ、コロナ前の状態まで体制を回復させることに重点をおき、会員の要望を積極的に反映させ、活動を行う。

・研究部の体制

現在、研究部長が不在のため、従来のような支部長—副支部長—研究部長—ブロック長—会員といった体制にはこだわらず、現時点で最適な活動体制を積極的に採用し、気軽に参加できる体制を目指す。

イ. 事業計画

研究部員からの意見・要望を明確に確認し、今、最も望んでいるものが何なのかを把握し、単なる実績のための活動ではなく、やって良かったと感じられる有益な活動となるように計画を推進する。

ウ. 活動計画

①調査研究部会 (令和5年9月以降複数回)

②石狩支部研究協議会 (令和6年2月予定)

(3) 令和5年度広報厚生部事業計画

学校事務を行う活力の増進を図る事業を実施するとともに、広報誌等により各会員の相互交流を図る。

ア. 石狩支部パークゴルフ大会など、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、種目及び時期等を検討し進める。

イ. 広報誌「青鷺」第75号 (令和6年3月下旬発行予定)

2 支部役員一覧

支部長	佐 藤 則 仁（札幌北陵高等学校）
副支部長（調査研究部担当）	脇 坂 博 行（札幌あすかぜ高等学校）
副支部長（広報厚生部担当）	南 俊 宏（恵庭北高等学校）
監事	小 山 晃 一（札幌東豊高等学校）
監事	丸 橋 均（札幌あいの里高等支援学校）
総務部長	井 上 順 路（札幌北陵高等学校）
調査研究部長	（調 整 中）
広報厚生部長	浅 香 麻 衣（千歳北陽高等学校）

3 年間行事

令和5年 7月 石狩支部総会（書面審議）
10月 支部レクリエーション事業
令和6年 2月 支部研究協議会
3月 広報誌発行

4 学校数・会員数

高等学校 38校 184名
特別支援学校 19校 78名（うち分校5校）

5 支部の特色

石狩は札幌市を中心に4市1村より構成され、当支部は、学校数及び会員数ともに道内で最多となる協会最大の支部となっております。ただ、支部活動の中心となる調査研究については、数年前から全校を3ブロックに分け、それぞれテーマを定め、研究活動をすすめることとしております。しかし、近年は多忙な学校も年々増加し、また新型コロナウイルス感染症予防対策の影響も重なり、活動が停滞気味となっている現状にあり、課題となっています。

ここ数年来の学校事務室を取り巻く環境の変化や協会活動に対する意識の変化など、他支部と同様の問題もありますが、支部の研究活動体制の見直しを図るなど、支部活動を徐々に回復させながら、支部会員の資質向上と相互交流に取り組んでいきます。